

なぜICT教育？



スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理

先日、軽井沢町の幼稚園・保育園・小学校・中学校に勤める先生方を対象とした「町教職員会議」が開催され、その中で「学習の場におけるタブレット端末の活用」について講演を聞きました。タブレット端末などの情報機器をツールとして学習を進めることは、今、文部科学省も力を入れてすすめていることで、「ICT教育」と呼ばれています。みなさんは「ICT教育」という言葉を目にしたり、耳にしたことはありませんか？

そもそもICTが何かと「ICT Information and Technologyの頭文字をとったもので、直訳すると「情報伝達技術」ということになり、「何かを人に伝えるために、より伝えやすくするための技術」ということが言えます。

私たちの生活の中では、スマートフォン、タブレット端末、様々な人工知能（AI）技術など、昔では到底考えられなかったことが、ごく日常にありふれています。誰かが「もっと便利になるように」「何かの役に立つように」と少しずつ研究を重ね、実現してきた技術が一般にも普及し、今ではそれがあたりまえになりつつあります。

このような技術は加速度を増して日々進歩しています。そして、このまま進歩が続くと、人工知能が人間の知識量・思考速度・分析能力を超えてしまうことが起こりはじめると研究されています。難しく言うところの出来事を「シミュラリティ」といい、研究上では2045年にこれが起こるとされています。

今、なぜICT教育が重要かという点、次世代の子ども達が働き盛りになり社会を担うようになる時が、まさに2045年だからなのです。社会の中で「自ら問い」をたて、解決方法を計画し実行し、「情報活用能力」を育てていくことが重要なのです。タブレット端末などの情報機器を使って主体的・対話的な学びをしながら、それぞれの個性を活かし合う力を育てていくことが必要になってきているのです。

2018年	2045年
7歳	34歳
8歳	35歳
9歳	36歳
10歳	37歳
11歳	38歳
12歳	39歳
13歳	40歳
14歳	41歳
15歳	42歳

27年後 →

私たちは、スマートフォンやパソコンの使い方に迷ったり、この機能はなんだろう、と戸惑うことがしばしばあります。機械に振り回されるような気がしてしまうことさえあります。

人工知能が人間を上回るということは、今の私たちからは想像が付きませんが、その昔、今のような世の中が実際に実現しているとは想像していませんでした。しかし、そのような時代がきた時に、人間が人工知能に支配されてしまふのではなく、人間の個性を活かすために人工知能と共存していく、といった視点をもって、ICT教育の意味合いを考えて、理解を深められるといいですね。

『子育て』を応援してください

● 臨時職員募集

職種	保育士
資格	65歳以下で保育士の資格を有する方
採用期間	平成30年3月31日(出まで) (さらに6か月更新可)
勤務	7時30分～19時 シフト制
休日	週休2日(休日出勤あり) 年末年始
給与	日額 8,050円
待遇	通勤費支給(規定有) 社会保険加入

● パート・登録保育士

時給	1,000円 (7時30分～8時30分および、 16時30分～19時100円上乘せ)
資格	65歳以下で保育士の資格を有する方
採用期間	平成30年3月31日(出まで) (さらに6か月更新可)



【問い合わせ】 こども教育課 児童係 ☎45-8672